

都立東大和 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史 科目：日本史探究 単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

教科担当者：（1・2組：永島）（3・4組：永島）（5・6組：永島）（7組：永島）

使用教科書：（「詳説日本史」（山川出版））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開について、地理的条件や世界の歴史と総合的にとらえて理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	1 日本文化のあけぼの 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、原始社会（旧石器時代・縄文時代・弥生時代）の特色についての考察を踏まえ、時代を通観する。	1. 文化の始まり 2. 農耕社会の成立	【知識・技能】旧石器・縄文・弥生文化の成立と変容を理解している。 【思考・判断・表現】考古資料をもとに旧石器・縄文時代の社会の特徴を考察し、表現している。文献資料にもとづき弥生時代を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】黎明期の日本列島について考察することを通じ、その特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	12
	2 古墳とヤマト政権 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、古墳の変容とヤマト政権による国家の形成過程について考察する。	1. 古墳文化の展開 2. 飛鳥の朝廷	【知識・技能】国家の形成・古墳文化・飛鳥文化について大陸との関係に着目して理解している。 【思考・判断・表現】中国の歴史書などをもとに小国の形成過程や仏教の受容や遣唐使など多面的に考察して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】大陸との関係に着目して推古朝の政治や文化の展開を主体的に追求しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	3 律令国家の形成 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、律令国家の形成過程と国内統治体制について理解し、奈良から平安前期を考察する。	1. 律令国家への道 2. 平城京の時代 3. 律令国家の文化 4. 律令国家の変容	【知識・技能】中国王朝との関係に着目して律令体制の成立過程などを理解している。 【思考・判断・表現】白鳳期の政治動向に着目し、律令体制整備の過程について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとつながりを見出そうとしている。	○	○	○	21
定期考査			○	○		1	
4 貴族政治の展開 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、平安中期の摂関政治や地方政治の崩れを考察する。	1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 地方政治の展開	【知識・技能】藤原北家が権力を掌握していく過程から律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 【思考・判断・表現】文献資料を活用して、律令制度の変容を考察し、地方支配の状況を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】平安時代の政治の在り方と文化の関係を考察することを通じ、そのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	13	
5 院政と武士の躍進 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、平安後期の院政や平氏政権の特性について考察する。	1. 院政の始まり 2. 院政と平氏政権	【知識・技能】貴族政治や土地制度の変容をもとに、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 【思考・判断・表現】武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、土地の支配や所有が持つ意味について多面的に考察して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】中世社会の特色について多面的に考察することを通じ、時代を通観する間を表現し追究しようとしている。	○	○	○	16	
6 武家政権の成立 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、古代から中世への変化について考察し、鎌倉幕府成立から衰退までの流れと文化を考察する。	1. 鎌倉幕府の成立 2. 武士の社会 3. モンゴル襲来と幕府の衰退 4. 鎌倉文化						

2 学	企画書作成								
	定期考査						○	○	

